2018 年度人材育成学会論文賞

受賞対象：石山恒貴（2017）「大学生のアルバイト経験が職業能力とジェネリックスキルに与える影響」『人材育成研究』 13(1)，pp.21-42.

受賞日：2018 年 12 月 9 日（人材育成学会第 16 回年次大会）

研究の概要：

本研究では、大学生のアルバイトの労働条件、経験がどのような職業能力を形成したのか、また形成された職業能力とジェネリックスキルの関係性について、分析した。具体的には、大学生のアルバイトにおいて、どのような条件でどのような職業能力が形成されるのか、探索的に分析した。次に探索的に抽出した職業能力が、ジェネリックスキルの評価指標として設定した社会的スキルとキャリア・アダプタビリティにどのような影響をあたえているのかについて、検証した。

まずは 3 段階の予備調査を定性的に行い（計 105 名へのインタビューなどの調査）、アルバイトの職場を分析し、職業能力の共通的な要素を抽出し、その要素に基づき質問紙を作成した。その結果、お客様と仕事に関連する職業能力は、それぞれ異なった状況で形成されていたことが示唆された。職業能力の共通要素の領域は、社内対応、お客様対応、後輩・部下指導、業務効率化・創意工夫の 4 領域に区分された。

本調査では、全国の 4 年制大学生 824 名に質問紙調査を行った。その結果、大学生がアルバイトで獲得する職業能力には基本的業務遂行、応用的業務遂行、職場の管理と改善、お客様対応、職場での懇親、後輩への要望、という要素があることが明らかになった。また職業能力の獲得には、経験月数、アルバイト業務のスキル多様性と職務自由度、アルバイトの目的として経験と成長が正の影響を与えていた。獲得した職業能力は、ジェネリックスキルに正の影響を与えていた。

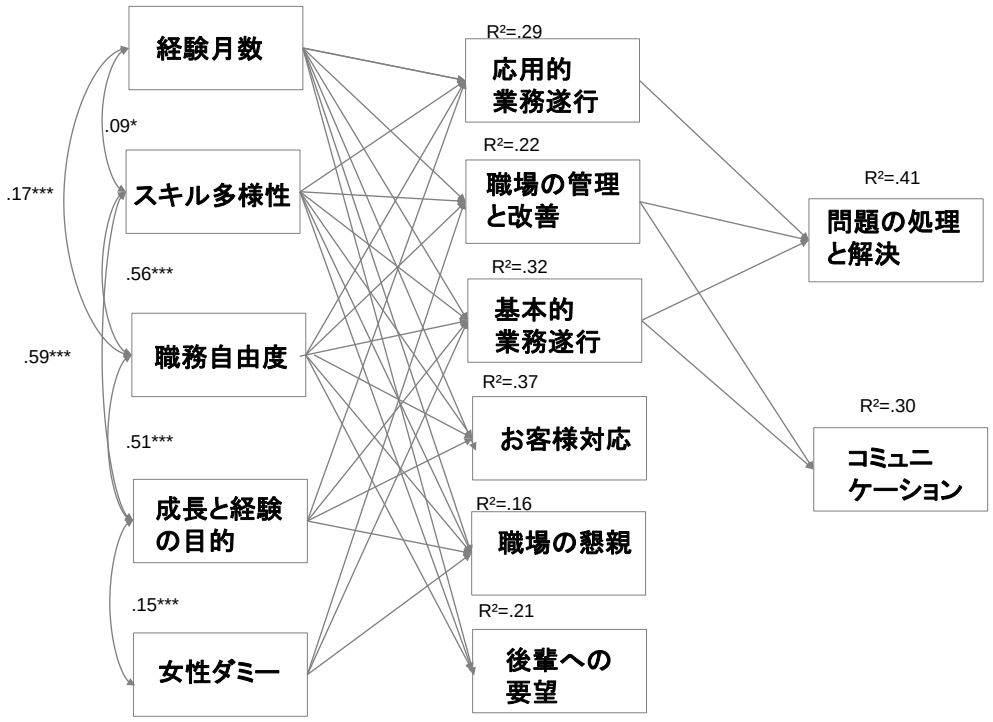

図　アルバイトの前提条件、アルバイトの職業能力、社会的スキルに関するモデル

1. ***p<.001，*p<.05　モデルの適合度は GFI=.990、AGFI=.963、CFI=.995、RMSEA=.034。
2. 実線は全て有意なパスであり、パスの標準化係数は省略。
3. 簡略化のため、誤差変数、および誤差変数間の相関関係の表記は省略。